

登録コード	HM101900	開講年度	2026			
授業題目	組織発生学論文演習					担当教員 城倉 浩平 他
英文授業名	Thesis Seminar in Histology & Embryology					副担当 YUE FENGMING・友常 大八郎
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇔ (授業の達成目標) 2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初 【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力 ⇔ 組織学および発生学分野の研究において、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を身に付けることができるようになる。					
(2)詳細/Detailed information	論文を読んで内容を理解し、手法を分析することは、研究の遂行と発表に役立つ。研究に必要な情報の取得方法と合わせて訓練する。					
(3)授業の概要/Overview of course	医学データベースを用い、適切な医学論文を検索する能力を学ぶ。また、抄読会形式で英語学術論文を読み、論理の組み立ての妥当性を判断し、その内容を第三者にわかりやすくプレゼンテーションする能力を身に付ける。					
(4)授業計画/Course plan	(城倉浩平/5回) 発生学に関わる論文をとりあげ、論文の内容および分析の仕方などを指導する。 (友常大八郎/5回) 細胞生物学に関わる論文を対象にし、新たな研究へのヒントを含めて指導する。 (岳鳳鳴/5回) 再生医学に関わる論文を対象にし、方法論および研究の展開をポイントに指導する。					
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法： 提示課題に関する論文検索と抄読・プレゼンテーションの実際を通して評価する。 成績評価の基準： 医学論文検索と英語学術論文の読み方の基本を習得できれば「合格水準にある（可）」、英語学術論文の解析とプレゼンテーションが、良好にできれば「やや上にある（良）」、優れていれば「かなり上にある（優）」、感心できるレベルにあれば「卓越している（秀）」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	履修上の注意： 学会出席などの場合を除き、出来る限り出席すること。 事前事後学習の内容： 授業で学習した方法で文献検索を行い、論文を探すことを練習する。英語論文を読んで、構成や主張をまとめる練習をする。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談は、各担当教員のオフィス（医学部基礎棟4階 組織発生学教室）へ来てください。不在の場合は、教室の事務室で予定を確認してください。					
(8)授業の形式/Course format	抄読会形式、プレゼンテーション形式による。					